

高校同窓会の登山旅行

「石鎚山～四万十川～剣山」 事前②笹ヶ峰

9月26日未明ふと目が覚めたが車窓の外は暗い、もう一眠りしよう。次に起きたのは5時だった。慌ててドアを開けようとして、すぐ横に車が停まっているのに気付いた。2台だ、夜中に来て早朝からの登山に備えているのだ。両車とも静かで、まだ就寝中のようだ。



早くも紅葉が始まっている



上 東側から見た寒風山



上 オヤマリンドウ

下 笹ヶ峰



ここは旧寒風山トンネルの南側、高知県側の出口で、広い駐車場、東屋、トイレがあり、しかも寒風山、笹ヶ峰の登山口があるのだ。

今日は同窓生全員集合の日、ゆっくりしてはおられない。手早く朝食を済ませ、**6:08** 出発。広葉樹林下の急登をのぼる。アキチョウジ、アキノキリンソウ、リンドウが咲いている。

6:47 桑瀬峠。ここから西に行けば伊予富士を経て瓶ヶ森への縦走路。それを見送って東に笹原を進む。行く手の寒風山は早くも紅葉が始まっている。

7:42 寒風山。1763m。山名板のある頂は小さい広場になっている。霧が出て眺望は今ひとつ。先を急ぐ。

霧が晴れ、笹ヶ峰の稜線が見えてきた。笹原の大きな山塊だ。振り返ると寒風山の鋭い頂が薄青の空に突上げている。

頂上手前で愛媛県側からの登山路と合流して **8:54 笹ヶ峰の山頂に。1859.7m**。四方を笹原が埋める頂上はやや広い広場になっており、360度の展望を楽しむ。ここからの寒風山は鋭い切っ先のように見える。往路を引き返して下山。集合時刻に遅れてしまった。申し訳ない。

二上山だより



上 コウヤボウキ

ワレモコウ(バラ科ワレモコウ属)

杉本真人作曲の「吾亦紅」で有名に。月見にススキなどと飾る花。花屋に行ったら高い値で売っていた。採(盗)られるはずだ。乾燥させた根は地榆(ちゆ)と呼ばれ、吐血、咯血、月経過多、去痰の薬とされている。 右がワレモコウ



ツルアリドオシの実

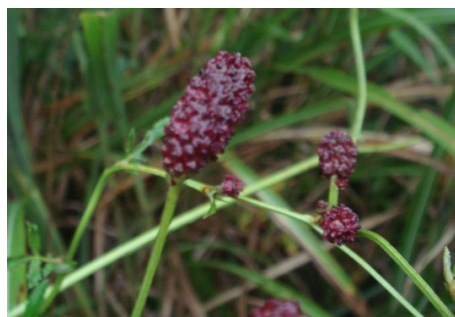
夏、ラッパ状の可愛い花を咲かせたツルアリドオシが、これまた可愛い赤い実をみのらせている。(写真 右)



コウヤボウキ(キク科コウヤボウキ属)

キク科の木。竹の栽培が禁じられた高野山で、この植物の枝幹を束ねて箒として使い、又「高野箒」の名で各地に売りに歩いたという。

特殊な使用法としては酒樽の掃除、蚕室の清掃、木綿に付いた細かなゴミ払いなどに活用されたそう。束ねると適度の固さとしなりが役立つらしい。



オケラ(キク科オケラ属)

二上山山頂付近に咲いているが、地味な上にコウヤボウキに似るため、目立たない。根は白朮(ビャクジュツ)と言ひ、胃、利尿の薬。若芽は山菜として食用。京都・八坂神社の朮(おけら)祭はこの根を焼いて火をつくる。 写真左



ヤマハッカ(シソ科ヤマハッカ属)

遊歩道の傍らに咲いている。青紫色の小さな花(写真 左の左)

フイチゴ(バラ科キイチゴ属)

冬おいしい赤い実をつける。今白い花を咲かせている。(左の右)(以上 103号)